

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		伊藤 耕介	所 属		理学部 物質地球科学科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.35	<ul style="list-style-type: none"> ・新入生のクラス担任として、生活が円滑に始められるよう補助する。 ・新規に担当する講義「物理数学演習」の講義資料を学生の理解度に合わせて作成する。 ・研究室配属の学生が自身で卒業研究を進められるよう適切な指導を行うとともに、志望通りに就職・進学できるよう進路相談を行う。 			0.25	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス担任として、新入生の新生活がスムーズに始まるよう情報提供・個別相談に努めた。 ・「物理数学演習」の講義資料をあらたに作成し、学生の理解度を図りながら授業を進めるために、座学と演習のバランスに配慮しつつ授業を行った。 ・学生の興味に沿った卒業研究指導を行った。 		
研究	0.35	<ul style="list-style-type: none"> ・気象庁の台風強度予報の性質を統計的に明らかにした研究に関して論文を発表する。 ・台風を大気海洋結合系における現象として捉える研究を進める。 			0.40	<ul style="list-style-type: none"> ・気象庁の台風強度予報データベースを構築し、さらなる改善の余地があることを統計的に示した。SOLAから論文として発表した。 ・大気海洋結合モデルを用いた同化システムを構築し、台風10号の予測精度向上を確認したため、気象庁・海洋研究開発機構と共にプレスリリースを行った。 		
社会 貢献	0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・出版や講演会などの機会を通じて、台風に関連する自然災害に関する知識の普及に努める。 ・これまでの台風研究の成果を気象庁に報告するなど密な連携を図り、応用面での貢献を目指す。 			0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・NHK総合テレビ、琉球新報などに対し、今年の台風に関する解説や情報提供を行った。 ・与那国島防災気象講演会、東京でのポスト京シンポジウムにおいて、台風災害と台風研究の現状について講演を行った。 		
管理 運営	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・理学部選挙管理委員として公正な選挙管理に努める。 ・その他、電算化推進委員などとして、大学全体、または、理学部の環境整備に貢献する。 			0.15	<ul style="list-style-type: none"> ・理学部選挙管理委員として公正な選挙管理に努めた。 ・全学の広報戦略本部の構成員として活動するなど、大学全体・理学部の環境整備に貢献した。 		
	0.00				0.00			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		山田 広幸		所 属		理学部 物質地球科学科 地学系		職 名		准教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果				
教育・ 学生 支援	0.35	<ul style="list-style-type: none"> ・担当する講義を、受講者の能力・学習態度を考慮しながら進める。 ・研究室に配属された5名の卒業研究の指導を実施する。 ・気象概況説明会「weather briefing」を週1回開催し、学生の気象に対する興味を高め、大気現象への理解を深める手助けをする。 ・研究室に所属する学生、院生の進路や就職についてサポートを行う。 				0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・担当する講義を、受講者の能力・学習態度を考慮しながら進めた。 ・研究室に配属された5名の卒業研究の指導を実施した。 ・気象概況説明会「weather briefing」を週1回の割合で開催した。 ・研究室に所属する学生、院生の進路や就職についてサポートを行った。 				
研究	0.35	<ul style="list-style-type: none"> ・新規採択された科研費の研究(レーダーを用いた台風の強度推定)を計画通りに進める。 ・名古屋大学との共同による気象レーダー観測を遂行する。 ・沖縄電磁波技術センターの気象レーダーを用いた研究を進める。 				0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・台風18号について強度推定を行い、報道発表を行った。 ・名古屋大学との共同による気象レーダー観測を遂行する。 ・沖縄電磁波技術センターのレーダーを用いた2013年台風27号の構造についての卒業研究を指導した。 				
社会 貢献	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・日本気象学会の国際誌JMSJの編集委員を継続する。 ・球陽高校における気象観測装置の運用に関するアドバイスを行う。 ・沖縄気象台の地域気象に関わる研究のアドバイスを行う。 				0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・日本気象学会の国際誌JMSJの編集委員を務めた。 ・沖縄気象台等でモンスーン渦やの台風強度に関する勉強会を行った。 ・第1回気象サイエンスカフェin那覇で台風に関する解説を行った。 ・台風や落雷、モンスーン渦について報道向けの解説を計8回行った。 ・「子ども気象学土」講習会で小学生向けに台風の解説を行った。 				
管理 運営	0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・琉球大学理学部気象ステーションの維持管理を行う。 ・理学部屋上および瀬底研究施設に設置した名古屋大学の気象レーダーの維持管理を行う。 ・学内で担当する委員の役割を果たす。 				0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・理学部気象ステーションを維持管理し、教育・研究に活用した。 ・名古屋大学気象レーダーの維持管理を行い、教育・研究に活用した。 ・学内で担当する委員の役割を果たした。 				
	0.00					0.00					
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠を広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 				1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		松本 剛	所 属		理学部 物質地球科学科 地学系	職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.30	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、共通教育科目・専門科目を提供する。試行として、「海洋の科学」の授業にキャリア教育の要素を取り入れる。キャリア科目(総合科目)のより一層の充実を図る。また前年度分に加え、今年度は新たに、「琉大特色特別講義Ⅲ」の一部を担当する。 総合環境学副専攻の主任を務めることになったため、他の副専攻担当教員と連携し、副専攻の運営、環境教育のより一層の充実を図る。 所属系の4年次指導教員として、進路相談や就活セミナーに関する情報提供など、学生の進路決定のための助言指導を行う。 			0.30	<ul style="list-style-type: none"> 「海洋の科学」の授業に、問題提起に対する答えを議論するグループワークを取り入れ、また「授業内容が如何に社会に役立てられるか」を問うなど、キャリア教育の要素を取り入れた。 「琉大特色特別講義Ⅲ」に1回出講し、沖縄の学生の進路決定事情、北部・離島域での人口減少問題とその解決策についての講義を行った。 総合環境学副専攻のオリエンテーションで「環境」が幅広い分野と関わっていることを説明し、副専攻生の勧誘を行った。またその他7の副専攻の運営業務を行った。 所属系の4年生には、就活セミナーに関する情報を提供し、実際に受講生があった。 		
研究	0.25	<ul style="list-style-type: none"> 「みらい」チリ航海(平成29年1~2月)の非乗船課題が採択されたため、乗船研究者・観測技術員と協力して、チリ海嶺の沈み込み地点周辺の地球物理データを取得する。海域が南極プレート境界を含むため、研究を進めるに当たり、国立極地研究所とも連携する。 明和の大津波による宮古地区の被災状況についての考察を行う。 			0.25	<ul style="list-style-type: none"> 「みらい」チリ航海(平成29年1~2月)で、チリ海嶺の沈み込み地点周辺の地球物理データを取得した。現在、データの到着待ちである。 情報通信研究機構との共同研究による沖縄島内陸上地磁気観測データの解析に着手した。 明和の大津波による宮古地区の被災状況が、沖縄県津波浸水予測よりも少ない原因についての考察を行い、学会でポスター発表した。 		
社会 貢献	0.15	<ul style="list-style-type: none"> 公開授業を提供する。前年度までの2科目の他、「総合特別講義Ⅱ」も公開する。また、これらの授業を、サテライトキャンパスに配信する。 教員免許状更新講習を実施する。前年度までの防災教育関係の科目の他、新たにキャリア教育科目を選択必修科目として提供する。 			0.15	<ul style="list-style-type: none"> 「海洋の科学」「天体観測を通して学ぶ宇宙」「総合特別講義Ⅱ」を公開授業とし、併せてサテライトキャンパスにも配信した。 教員免許状更新講習で、新たに「キャリアプランニングと進路選択」を提供した。 10月1日に徳之島で、海洋・環境・防災に関する公開講座を実施した。 		
管理 運営	0.30	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、キャリア教育センター長として、全学の初年次から進路決定に至るまでのキャリア教育及び就職活動支援を行う。今年度はこれまでの事業の他、新たに沖縄総合事務局による補助金事業を受託し、琉大生のみならず他大生・短大生・専門学校生等へインターンシップを提供する事業を展開する。 			0.30	<ul style="list-style-type: none"> これまで共通教育の「総合科目」であったキャリア科目を独立させ、カテゴリー「キャリア関連科目」を新設した。また、機構会議を通じて、各学部宛、卒業要件への組み入れの検討を要請した。 離島域の人口流出防止と産業活性化に資するため、COC+事業の予算配分を受け、正課及び正課外で、フィールドワークを伴う実践型授業を行った。 夏期90名、春期111名(延べ)のインターン生を受入れ、県内企業に派遣した。 		
	0.00				0.00			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		浅海 竜司	所 属		理学部 物質地球科学科	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.40	琉球大学理学部物質地球科学科の2年次指導教員を担当する。「地球の科学(共必, 学部1年)」、「海洋地学実習(必, 分担, 学部1年)」、「古環境学(専選, 学部2年)」、「炭酸塩地球科学(専選, 学部3年)」、「海洋地学研究法I・II(必, 学部3年)」、「地史学実習(選, 分担, 学部3年)」、「地球環境学特論I・II(選, 院生)」、「海洋地学セミナーI・II(必, 学部4年)」、「卒業研究I・II(必, 研究室所属学部4年2名)」を担当し, 学部1年から院生までの各学年層に適した内容の授業を提供する。留年することがないように, 毎週～隔週で卒業研究の進捗状況を確認, 指導する。			0.40	琉球大学理学部物質地球科学科の2年次指導教員を担当し, 「地球の科学(共必, 学部1年)」、「基礎ゼミ(必, 学部1年)」、「海洋地学実習(必, 分担, 学部1年)」、「古環境学(専選, 学部2年)」、「炭酸塩地球科学(専選, 学部3年)」、「海洋地学研究法I・II(必, 学部3年)」、「地史学実習(選, 分担, 学部3年)」、「地球環境学特論I・II(選, 院生)」、「海洋地学セミナーI・II(必, 学部4年)」、「卒業研究I・II(必, 研究室所属学部4年2名,)」を担当した。学部4年生2名, 3年生3名を指導した。		
研究	0.45	採択された科学研究費補助金「若手A:代表」「挑戦的萌芽:代表」「基盤A:分担」「海外学術基盤B:分担」の研究に従事し, 炭酸塩生物・堆積物に基づいた現代～過去の環境解析研究を実施する。本学理学部および部局外との国際・国内共同研究(20件)を推進し, 第四紀気候変動解析研究を実施する。随時, 成果を査読付ISI国際学術論文, 国内国際学会等で発表する。			0.40	科学研究費補助金「若手A:代表」「挑戦的萌芽:代表」「基盤A:分担」「海外学術基盤B:分担」および学内競争的研究資金(代表1件, 分担1件)の研究に従事し, 本学理学部および部局外との国際・国内共同研究(22件)を推進した。成果として, 査読付ISI国際学術論文(3編, うち1編はJGR誌のEditorハイライト, 国際学会(6件), 国内学会(9件, うち1件は日本地質学会ポスター賞)で発表した。		
社会 貢献	0.05	国内外の学会(10件)に所属し, 一般社会・中高生へ地球科学の情報等を発信し, 学会の発展に貢献する。			0.05	国内外の学会(10件)に所属し, 一般社会・中高生へ地球科学の情報等を発信し, 学会の発展に貢献した。		
管理 運営	0.10	琉球大学理学部理学部教授会, 理工学研究科(前期)委員会, 理学部物質地球科学科会議に参加し, 管理運営に関わる。各種委員会(保有個人情報管理委員会, 情報公開委員会, 教授職員会代議員, 広報委員会, 安全衛生委員会)を務める。			0.15	琉球大学理学部理学部教授会, 理工学研究科(前期)委員会, 理学部物質地球科学科会議に参加し, 管理運営に関わった。各種委員会(保有個人情報管理委員会, 情報公開委員会, 教授職員会代議員, 広報委員会, 安全衛生委員会, 営利企業兼業審査委員会)を務めた。広報委員会および安全衛生委員会では委員長を務め, オープンキャンパスおよび学内安全管理等の業務を務めた。		
	0.00				0.00			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう, 記入してください。 ・記入量に応じて, 枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は, 「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう, 記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には, 右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		中村 衛	所 属		理学部 物質地球科学科	職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.20	地球科学I、地球の科学、地震学の授業に関し、質問・感想用紙を毎回配布して、学生の理解が不十分な点、講義の進め方等について積極的な意見を聴取し、次回以降の授業で生かす。固体地球物理学の授業ではミニテストを毎回実施して次回にその結果を各学生に返却し、学生の理解度を双方で把握できるようにする。			0.20	毎回の意見徴収を実施し、ミニテストを実施して説明不足の点を次の授業時に補足説明した。 地球科学に関係する企業へインターンシップ参加する学生(6人)の世話人を担当し、集中講義枠での単位認定を地学系で初めて実施した。それを踏まえて来年度以降に向けて地球科学に関係する企業へインターンシップに参加する学生用の科目「地学インターンシップ」を新設した。		
研究	0.30	琉球海溝および台湾での巨大地震津波発生可能性研究を推進するため、他大学・台湾の大学との共同観測研究(津波堆積物、海底地殻変動観測)を進める。研究成果は国内外で学会発表および学術雑誌(査読有)へ論文投稿する。			0.30	台湾の研究者との台湾での津波堆積物調査は予定通り実施した。沖縄島・八重山沖での海底地殻変動観測も予定通り実施した。研究成果は2本(うち査読誌1本)、投稿中2本である。		
社会 貢献	0.20	マスコミを通じた研究広報活動、および一般向け講演活動を行い防災活動・地震知識の普及に努める。地震関係の委員会に参画し、研究成果を生かす。			0.20	地震津波災害に関するコメントが新聞(6件)に掲載された。また地震津波災害に関する解説をおこなうためテレビ番組(3件)・ラジオ番組(1件)に出演した。 講演6件をおこない、地震防災関連の会議4件(沖縄県2件、県外2件)に参加した。		
管理 運営	0.30	地学系主任として組織運営に貢献する。			0.30	地学系主任等として組織運営に貢献した。		
	0.00				0.00			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)							
名 前		藤田 和彦		所 属	理学部 物質地球科学科	職 名	教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.30	1. 新しい担当科目(地学概論)の講義を準備する。 2. 学生の視点に立ったコミュニケーションを常に心がけ、進路の相談に当たる。		0.30	1. 今年度から新たに地学概論(6回分)を担当した。 2. 研究室の4年次3名中、2名の学生が就職内定し、1名が大学院進学予定である。		
研究	0.40	1. 科研費基盤Bの研究代表者として共同研究を進める。2. 島嶼地球環境学に関する学内組織を立ち上げる。3. 海外の研究者との国際共同研究を進展させる。		0.40	1. 基盤B(代表)と基盤S(分担)の合同調査を久米島で実施した。 2. 戦略プロジェクト研究のメンバーとして活動するとともに、学内で水循環勉強会を定期的実施した。 3. 豪シドニー大学の研究者と久米島で国際共同研究を実施した。		
社会貢献	0.10	教員免許更新講習「琉球列島の成り立ち(野外地質巡検)」を準備・実施する。		0.10	8月に実施し、20名の小中高教員が受講した。		
管理運営	0.20	理学部各種委員会活動に貢献する。		0.20	理学部の研究推進委員会、図書委員会、エコ推進委員として活動した。		
	0.00			0.00			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		安田 千寿	所 属		理学部 物質地球科学科 物理系	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果			
教育・ 学生 支援	0.35	<ul style="list-style-type: none"> ・担当講義のシラバスを受講者へ周知する。 ・学生の修得度の現状把握に努めながら講義を進める。 ・学生が自学自習できる環境を整える。 ・担当する大学院生の学会発表等を支援する。 ・担当する卒研究生・大学院生の就職や大学院進学に関する指導を行う。 		0.40	<ul style="list-style-type: none"> ・担当科目のシラバスや自己評価チェックシートを作成配布した。 ・担当する初年次科目において、高校における修得状況を確認して授業を進めた。 ・大学院生控え室の研究環境を整備した。 ・担当する大学院生2名の日本物理学会での講演を支援した。 ・博士論文審査会の委員を務めた。 ・担当する学生の教育実習の研究授業に参加した。 ・担当する卒研究生・大学院生の就職に関する指導を行った。 ・クォーター制度に関する全学FD講演会や高大接続システム改革に関する説明会に参加した。 			
研究	0.35	<ul style="list-style-type: none"> ・研究に必要なコンピューター計算資源を獲得する。 ・論文を作成、投稿する。 ・研究成果を学会等で発表する。 ・外部資金の獲得を目指す。 ・学内や他大学等との共同研究を推進する。 		0.43	<ul style="list-style-type: none"> ・東京大学物性研究所スーパーコンピューターシステムの共同利用申請を行い、プロジェクトが採択された。 ・論文を出版した。 ・日本物理学会で研究成果を発表した。 ・科研費(基盤研究(C))を獲得した。 ・学内や他大学の研究者との共同研究を推進した。 			
社会 貢献	0.05	<ul style="list-style-type: none"> ・担当する授業を一般市民や高校生に公開する。 ・学外共同利用施設の運営に協力する。 		0.02	<ul style="list-style-type: none"> ・担当する科目「物理学入門I」と「物理学入門II」を一般市民や高校生に公開し、のべ7名の一般市民に授業を公開した。 ・学外共同利用施設の運営に協力した。 			
管理 運営	0.25	<ul style="list-style-type: none"> ・全学学士教育プログラム委員として、業務に従事する。 ・理学部紀要編集委員として、紀要に関する業務に従事する。 ・非常勤講師室の世話人として、必要な環境を整える。 ・大学入試や大学院入試に関するデータを収集する。 ・その他の委員会委員の業務に従事する。 		0.15	<ul style="list-style-type: none"> ・全学学士教育プログラム委員として、業務に従事した。 ・理学部紀要委員として、業務に従事した。 ・非常勤講師室の世話人として、業務に従事した。 ・入試に関連するデータを収集した。 ・その他の学内委員の業務に従事した。 			
	0.00			0.00				
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠を広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)						
名 前		稲岡 毅	所 属	理学部 物質地球科学科 物理系	職 名	教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生 支援	0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・共通教育科目「物理学I・II」、学部共通科目「基礎ゼミ・II」、専門教育科目「物理数学I・IV」、大学院教育科目「素励起物理学」(前期課程)、「表面物理学特論」(後期課程)を担当する。 ・研究室では、学部4年次生、前期課程学生の研究指導を行う。 ・研究室の指導教員として、就職、大学院進学などについて学生の相談に応じ、学生の進路模索を支援する。 		0.35	<ul style="list-style-type: none"> ・共通教育科目「物理学I・II」、学部共通科目「基礎ゼミ・II」、専門教育科目「物理数学I・IV」、「物理学トピックス(1回分)」、大学院教育科目「素励起物理学」(前期課程)の授業を行った。学部の科目で小テストを2回行い、学生の自己学習を促した。 ・研究室では、4年次生の研究指導を行った。また、副指導教員として前期課程1名の研究指導を行った。 ・研究室の学生の進学準備、就職活動に気を配り、これを支援した。 	
研究	0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・国際誌に学術論文を投稿する。 ・所属する学会、研究会で研究発表を行う。 ・科研費の申請を行う。 ・他大学の研究者と共同研究を行う。 		0.27	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度から続く研究時間の制約のため、研究が遅延した。年度末までに第1著者として国際誌に学術論文を1編投稿予定。国際誌に投稿する学術論文1編を共同研究者が執筆中。 ・国内学会で5件(第1発表者2件、第3発表者1件、第7発表者2件)、研究会で1件(第1発表者)の研究発表を行った。 ・新規の研究課題の計算コードを作成し、計算を開始した。 ・科研費(基盤研究C)の申請を行った。 ・他大学の研究者との共同研究のための議論を行った。 	
社会 貢	0.05	学部授業科目「物理学I・II」、「物理数学I・IV」を、公開授業として社会人および高校生に公開する。		0.03	学部授業科目4科目を公開授業として社会人および高校生に公開し、延べ2名の社会人を受け入れた。	
管理 運 営	0.35	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価担当の副学部長として、法人評価および認証評価受審のための自己評価書作成(共同)ととりまとめを行う。自己評価と関連して、学部自己評価委員会の委員長、全学の大学評価センター評価企画員、社会連携に関する自己点検・評価委員会委員を務める。また、全学大学院委員会委員を務める。 ・所属系の入試検討委員を務める。募集要項の点検、入試方法の検討などを行う。 		0.35	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価担当の副学部長として、6月までは法人評価、その後は認証評価受審のための自己評価書の作成(共同)を行った。学部自己評価委員会の委員長として、年3回の年度計画進捗状況の取りまとめを行った。全学の大学評価センター評価企画員として全学の自己評価業務に従事し、認証評価自己評価書の点検、手直し(共同)を行った。また、全学の大学院委員会委員、社会連携に関する自己点検・評価委員会委員を務めた。 ・所属系の入試検討委員を務め、募集要項の点検などを行った。 	
	0.00			0.00		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		瓜生 康史	所 属	理学部 物質地球科学科	職 名	教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生支援	0.40	「物理学入門I, II」「プログラミング入門」「計算物理学」「相対論的宇宙物理学入門」(大学院)の講義及び卒業研究指導を行う。学生の理解度を把握しつつ講義を進めるよう注意する。コンピューター関連科目ではTAを採用し実習時の質問にきめ細かく答えながら講義を進める。研究室所属の4年次学生の進路に関する助言等を行う。また、物理系の宇宙科学に関係する進路を希望する学生に対し助言等を行う。		0.40	学部向け講義については毎回講義の補助教材としてプリントを準備し、学期中のレポートや小テストにより学生の理解度の把握につとめた。実習補助のためのTAの活用も計画通り行った。大学院生(修士)に高密度天体に関する修士論文の研究指導を行った。卒業研究では前期に宇宙物理学についての輪講を行い、後期に中性子星の構造について卒業研究の指導をした。研究室の学生3名に対し進路に関する助言等を行った。	
研究	0.40	科研費基盤研究に関する高密度星計算法の発展的開発を推進し、関連論文を2編投稿することを目標にする。テレコンファレンスや相互訪問を通じて共同研究者との協力関係の緊密化を図る。また、関連する国際会議や学会において研究発表を行う。		0.40	連星高密度星に関する論文1本と、回転高密度星に関する論文2本がPRDに掲載された。これらの計算結果をEinstein tool kit上で利用できるよう整備を進めた。定期的なテレコンファレンスを行い、共同研究を推進した。東北大より共同研究者を招へいした。修士大学院生が研究結果を天文学会で発表予定。	
社会貢献	0.10	物理系公開講座の開催に貢献する。昨年度に引き続き、パルサーを解りやすく解説するための教材開発を試みる。		0.10	物理系公開講座の開催に貢献した。教材開発は今後も継続的に進めて行く。	
管理運営	0.10	理学部および理工学研究科の研究に関する現況調査表作成の補助を行う。		0.10	理学部および理工学研究科の研究に関する現況調査表作成の補助を行った。	
	0.00			0.00		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前	小田 一郎		所 属	理学部 物質地球科学科 物理系		職 名	教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・担当講義のシラバスを受講者へ周知する。 ・学生の修得度の現状把握に努めながら講義を進める。 ・学生が自学自習できる環境を整える。 ・担当する大学院生2名の指導を行う。 ・担当する卒研究生・大学院生の就職や大学院進学に関する指導を行う。 		0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・担当講義のシラバスを受講者へ周知した。 ・学生の修得度の現状把握に努めながら講義を進めた。 ・学生が自学自習できる環境を整えた。 ・担当する大学院生1名の指導を行った。もう1名は病気により休学中。 ・担当する卒研究生・大学院生の就職や大学院進学に関する指導を行った。 		
研究	0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・3本以上の論文を作成し、外国の論文雑誌に投稿する。 ・研究成果を学会等で発表する。 ・外部資金の獲得を目指す。 		0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・8本の論文を作成し、外国の論文雑誌にすでに7本の論文の掲載が決定した。 ・科研費の基盤研究(C)を獲得した。 		
社会 貢献	0.05	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンキャンパスや公開講座等に参加する。 ・学外共同利用施設の運営に協力する。 		0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンキャンパスや公開講座等に参加した。 		
管理 運営	0.45	<ul style="list-style-type: none"> ・物質地球科学科の学科長、物理系の主任として、業務に従事する。 ・その他の委員会委員の業務に従事する。 		0.40	<ul style="list-style-type: none"> ・物質地球科学科の学科長、物理系の主任として、業務に従事した。 ・その他の委員会委員の業務に従事した。 		
	0.00			0.00			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		深水 孝則	所 属	理学部 物質地球科学科	職 名	教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生 支援	0.40	共通教育科目の「物理学I、II」、学部専門科目の「物理実験Ⅲ、Ⅳ」、「物理学基礎実験」、大学院教育科目の「誘電体論」の講義を担当する。「物理学I、II」の講義は、適宜小テストなどを行い学生の理解度を確認しながら授業を進める。研究室に配属された卒業研究生及び大学院生の研究の指導を行う。また、研究室に所属している卒業研究生の進路や就職先についてサポートを行う。		0.40	共通教育と学部講義、及び大学院の講義を担当した。また、物理学 I、II の講義において、小テストや演習問題を取り入れ学習効果を上げた。卒業研究生2名の研究指導を行った。	
研究	0.35	国際的な学会誌への論文の投稿を行うことを目標として、研究を推進する。		0.35	今年度、国際誌に4編の論文が掲載された。	
社会 貢献	0.10	他大学の非常勤講師として、専門性を生かした教育支援を行って学部学生のコンピュータ技術の向上を図る。教員免許更新のための講義を行う。		0.10	他大学で情報関係の講義を行い、学生のコンピュータ技術の向上を図った。受講希望者が5名未満だったため教員免許更新の講義は開けなかった。また、社会貢献に関する依頼がなかったため、その他の社会的貢献は行わなかった。	
管理 運営	0.10	3年次指導教員、学部予算編成検討部会委員、将来計画委員として管理運営に参加する。		0.10	3年次指導教員、学部予算編成検討部会委員、将来計画委員、シンクロトン光大学間連携会議委員として積極的に活動を行った。	
進路 指導	0.05	研究室に所属している卒業研究生の進路や就職先についてサポートを行う。		0.05	研究室の卒業研究生の就職に関してサポートを行った。	
計	1.00			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		前野 昌弘	所 属		理学部 物質地球科学科	職 名		准教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果				
教育・ 学生 支援	0.40	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットPCを用いた物理シミュレーション教材のコンテンツを整備するとともに、Webを利用して講義録、教材提供などを行う。 ・高校教員などと連携も図りつつ、「教職実践演習」の授業内容を充実させる。 ・大学院生、卒業研究生の進路について、相談に乗る。 		0.40	<ul style="list-style-type: none"> ・「自然科学のための数学」と「熱力学」においてはコンピュータプログラムを多数作成し、Webにて教材提供を行った。 ・「教職実践演習」では学生に主催させた公開講座が多数の入場者を集めて成功した。 ・放送大学スクリーングの講師を勤めた。 				
研究	0.35	<ul style="list-style-type: none"> ・超弦理論または量子重力などの分野の研究を行い、専門誌に論文を投稿する。 		0.25	<ul style="list-style-type: none"> ・超弦の場の理論の量子化についての研究を大学院生とともにに行い、修士論文として完成させるとともに、投稿準備中。 				
社会 貢献	0.15	<ul style="list-style-type: none"> ・「青少年のための科学の祭典・沖縄大会」の実行委員長、物理系の公開講座の実行委員を務める。 ・球陽高校SSH運営指導委員を務める。 ・高校の物理教員との連携事業を進める。 ・小学校などの初等教育への出前授業等も積極的に展開していく。 		0.25	<ul style="list-style-type: none"> ・出前授業は高校2校、小中学校8校に向けて行った。その他科学関係のイベントに参加した。 ・沖縄県の科学の祭典の実行委員長を勤めた。 ・公開講座は二つ実施した。 ・球陽高校SSH運営指導委員を勤めた。 ・沖縄電力青少年科学作品展審査員を務めた。 				
管理 運営	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・物理系の広報委員として、物理系ホームページを管理する。 ・高等学校への広報活動を行う。 		0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの管理を行った。 ・オープンキャンパスで広報活動を行った。 ・教職課程組織整備WGに参加した。 				
	0.00			0.00					
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 				
<p>※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。</p>				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		谷口 敬介	所 属	理学部 物質地球科学科	職 名	准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生 支援	0.45	学部生に対しては、専門科目「数値解析演習I, II」「光学」と共通教育科目「時間と空間」の講義、および卒業研究指導を行う。コンピュータを使用する数値解析演習ではマンツーマン指導をして学力向上に努め、講義科目では小テストを頻繁に実施して学生の理解度を確認しながら授業を進める。また、大学院進学を希望する卒研究生に対して助言を行う。大学院生に対しては、ゼミ形式の授業「宇宙物理学特論」を行う。		0.45	授業準備をしっかりと行い、昨年度の講義ノートや演習プリントを改訂した。数値解析演習では、進度の早い学生には追加の演習問題を出題し、より学力をつけられるようにする一方、進度の遅い学生には必要に応じて個別指導を行った。卒業研究では、週1度だったゼミを1月から週2回に増やし、卒業研究を仕上げられるように指導した。また、大学院進学を希望する卒研究生に助言を行った。大学院生向けのゼミでは英語の専門書を使い、院生の学力向上に努めた。	
研究	0.40	科研費基盤研究(C)「コンパクト連星の相対論的準平衡解に関する数値的研究」を推進し、関連論文を査読付き国際誌に投稿することを目指す。国内外の研究者と連携を図り、共同研究を行う。上記の科研費基盤研究は今年度で終了するので、秋に来年度の科研費に応募する。		0.40	科研費に関連した研究を推進した。筆頭著者としての論文は投稿できなかったが、査読付き国際誌に投稿した3本の共著論文に対して、掲載決定と出版に寄与した。また、来年度の科研費基盤研究(C)に応募した。	
社会 貢献	0.05	琉球大学公開講座に貢献する。国際誌の査読者として貢献を行う。		0.05	琉球大学オープンキャンパスでの模擬講義で講師を務めた。国際誌の査読者として貢献をした。	
管理 運営	0.10	全学の国際沖縄研究所運営委員会委員、学部内の広報委員会委員、系内の広報委員として貢献する。また、その他の委員会委員も依頼があれば引き受ける。		0.10	琉球大学国際沖縄研究所運営委員会委員として、運営に携わった。理学部広報委員会委員、物理系広報委員として貢献した。また、その他の委員も務めた。	
	0.00			0.00		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		仲間 隆男	所 属		理学部 物質地球科学科
			職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果
教育・ 学生 支援	0.40	「核の科学」世話人。 専門科目「物理実験学」(前期)、「エレクトロニクス入門」(後期) 「物理実験II」,「物理実験IV」(後期)担当。 教育補助としてTAを活用する。 物理実験II, 物理実験 IV 卒業研究: 卒研究生(3-5人)の指導 大学院前期課程学生(4人)および後期課程(1人)の指導 大学院前期科目: 物質地球科学特別研究・物質地球科学特別演習 など		0.40	「核の科学」の世話人。 専門科目「物理実験学」,「エレクトロニクス入門」,「物理実験II」,「物理実 験IV」の担当。 実験補助でTA6名。 卒業研究: 卒研究生(4人)の指導を行った。 大学院前期課程学生(4人)および後期課程(1人)の指導 大学院前期科目: 物質地球科学特別研究・物質地球科学特別演習などを担 当。
研究	0.30	学会への参加 国内および国際学会への参加 論文発表 論文および紀要の投稿 外部および学内資金の獲得を目指す 共同研究を行う		0.30	日本物理学会, その他研究会での研究発表16件。 国際会議発表5件。 論文11編。 東京大学物性研究所との共同研究を行った。
社会 貢献	0.10	オープンキャンパス, 理学部体験ツアーへの参加 公開講座開催		0.10	オープンキャンパス, 理学部体験ツアーに参加した。
管理 運営	0.20	系内委員: TA担当委員, 2年次指導教員 学部委員: 教育委員会委員 極低温センター長, 博士後期課程生産エネルギー工学専攻主任		0.20	系内委員: TA担当委員, 学部委員: 予算編成検討部会, 施設整備委員, 「職業と人生」世話人 極低温センター長(4-9月), ハラスメント等人権侵害相談窓口。 理工学研究科博士後期課程生産エネルギー工学専攻主任。
	0.00			0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してく ださい。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		椎名 亮輔	所 属		理学部 物質地球科学科 物理系	職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.50	<ul style="list-style-type: none"> ・新任として新規担当授業の準備を行う。 ・担当講義のシラバスを受講者へ周知する。 ・学生の修得度の現状把握に努めながら講義を進める。 ・学生が自学自習できる環境を整える。 ・担当する卒研究生の就職や大学院進学に関する指導を行う。 ・他大学での大学院集中講義を実施する。 			0.50	<ul style="list-style-type: none"> ・新規担当授業の準備を行った。 ・担当講義のシラバスを受講者へ周知した。 ・学生の修得度にあわせて適切に講義を進めた。 ・学生が自学自習するための課題を設定しアドバイスを与えた。 ・担当する卒研究生の指導を行った。 ・他大学での大学院集中講義を実施した。 		
研究	0.35	<ul style="list-style-type: none"> ・研究論文を作成する。 ・研究成果を学会等で発表する。 ・新学術領域J-Physicsへ参加し研究貢献を行う。 			0.35	<ul style="list-style-type: none"> ・研究論文を作成した。 ・研究成果を学会等で発表した。 ・新学術領域J-Physicsへ参加し研究貢献を行った。 		
社会貢献	0.05	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンキャンパスや公開講座等に参加する。 			0.05	<ul style="list-style-type: none"> ・学内外の各種セミナーやニュートン祭などで、研究紹介を行なった。 		
管理運営	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・琉球大学での運営体制を理解し、次年度以降の役回りに対応出来るようにする。 			0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・琉球大学での運営体制を理解把握した。 		
	0.00				0.00			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		梯 祥郎	所 属		理学部 物質地球科学科物理系	職 名	教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.40	物理学I, 物理学II, 物理数学II, 物理数学III, 物性論, および物理トピックスの講義をととして学生の基礎学力向上に努める。大学院(修士・博士)の講義(固体量子論)並びに研究指導を行い, 学生の修士・博士論文作成を指導する。研究室所属学生の学生生活・就職・進学に対して適切な助言・指導を行う。		0.50	例年通り教育・学生支援の役割を十分に果たした。博士課程指導学生1名の学位取得・学長賞受賞に貢献できた。		
研究	0.50	第1原理運動量依存電子相関変分理論を完成させ, 関連する諸問題へ応用する。長距離非局所動的CPA理論を定式化し, モデル計算によって有限温度における非局所電子相関の役割を明らかにする。		0.40	原著論文4編を出版して, 十分な研究成果を上げた。		
社会 貢献	0.05	教員免許状更新講習講師として, 講習を行う。 その他, 学内外からの要請があれば, 随時前向きに対応する。		0.00	教員免許更新講習は受講者が4名に達しなかったのでできなかった。 今後, 社会貢献に努力する。		
管理 運営	0.05	留学生特別プログラム委員会などの委員会委員として学部の運営に貢献する。		0.10	特別プログラム委員会委員・附属図書館運営委員会委員としての業務を果たし, 学部・全学の運営に貢献した。		
	0.00			0.00			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう, 記入してください。 ・記入量に応じて, 枠を広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は, 「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう, 記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には, 右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		田原 周太	所 属	理学部 物質地球科学科	職 名	准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生 支援	0.00	物理学実験で工学部(前期)及び医学部(後期)の1年生への実験指導を行う。物理系1・2年生対象の物理学基礎演習I、解析力学演習で演習指導を行う。また、大学院生を対象とした講義「構造不規則系の物性論」を開講する。研究室に所属する4年次生及び大学院生の指導として研究室ゼミや卒論指導などを行う。		0.35	予定通り、物理学実験、物理学基礎演習I、解析力学演習、大学院講義の授業活動を行った。研究室に所属する4年次生及び大学院生の研究指導も行った。	
研究	0.00	研究対象とする物質に対して高エネルギー量子ビームを用いた散乱実験、分子動力学シミュレーションを実行し、物質構造やイオン拡散等の研究を行う。学内実験室における実験も同時に行っていく。		0.45	量子ビーム散乱実験と分子動力学シミュレーションにより、熔融塩の構造に関する研究を行った。また、新しい実験装置の導入により、実験室の充実化を推進した。科研費の申請が採択され、外部資金獲得を達成した。	
社会 貢献	0.00	物理系が主催する公開講座に参加し、中高生を対象とした演示実験等を行う。		0.05	予定通り、物理系主催の公開講座に参加し、中高生を対象とした演示実験を行った。	
管理 運営	0.00	系会議へ参加し、学科系の運営に関わっていく。研究科委員会(前期)にも参加する。理学部エコ推進委員会及び安全衛生委員会の委員として活動を行う。物理系懇親会幹事・カリキュラム検討委員会委員として活動する。		0.15	系会議や前期研究科委員会、エコ推進委員会、安全衛生委員会、物理系親睦会幹事、カリキュラム検討委員などの運営活動に参加した。	
	0.00			0.00		
計	0.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		柳澤 将	所 属		理学部 物質地球科学科 物理系	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.35	<ul style="list-style-type: none"> ・担当講義では受講生の学力に応じた講義や学習指導を行なう。事前予習を促すようにする。 ・研究室で担当する大学院生の研究指導で、国際論文誌に掲載可能な水準の成果になるよう、指導・協力する。 ・担当する卒研究生・大学院生の就職・進学の指導を行う。 ・物理系4年時の指導教員として、卒業研究の研究室配属を円滑に進める。 ・4年次・院生の就職担当として求人・セミナー情報を速やかに提供する。 			0.35	<ul style="list-style-type: none"> ・担当する専門科目では、事前予習を促すようにし、成果を挙げることができた。 ・大学院生の研究指導によって、国際論文誌に掲載できそうな成果を得られつつある。 ・大学院生の教員採用試験受験にあたり、十分な勉強時間を確保できるよう配慮した。 ・4年次指導教員として、卒研究生配属を進めた。就職関係の情報も速やかに提供し、就職活動を支援した。 		
研究	0.40	<ul style="list-style-type: none"> ・共同研究を進め、査読付国際誌に昨年度掲載数(6報)以上の論文を掲載する。 ・現状以上の研究資源を保てるよう、外部資金(科研費、民間助成金など)を獲得する。 ・自身が第一著者または責任著者となる論文を、インパクトファクター4.0以上の査読付き国際誌に掲載する。 			0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・外部資金(科研費)の獲得や、研究資源(大型計算機)無料使用のためのプロジェクト申請をそれぞれ2件ずつ行ない、今後の研究費・資源確保につとめた。 ・共同研究の進捗に問題が出て、目標より論文数は少なかったが、研究データ・論文の両面で少なからず寄与した研究成果を論文掲載し、また、責任著者を務める論文も査読付き国際誌に掲載することができた(それぞれ、IF: 3.3, 2.2)。 		
社会 貢献	0.05	<ul style="list-style-type: none"> ・年に2回以上、国内学会・会議で自身の研究成果を発表し、海外の国際学会でも1回以上発表して研究分野の活性化に貢献する。 ・理学部ツアーをはじめとする一般向け施設開放や講演にも協力する。 			0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・国内学会発表2件、国内招待講演1件を行い、自身の研究成果を広めた。 ・学会発表や招待講演をきっかけに、来年度(4月)に国際会議の招待講演の依頼を受けた。 ・春・秋の国内学会の学生講演の審査委員となり、学会の運営に協力した。 		
管理 運営	0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・物理系の代議会委員として系の運営に協力し、物理系からの意見・提案の学部運営への反映に努める。 ・6月末まで、全学学生生活委員会委員として、学生の体育祭などの運営に協力する。 			0.25	<ul style="list-style-type: none"> ・代議員として、物理系と代議会とをつなぐ役割を果たすことができた。 ・全学学生生活委員会委員の仕事である、学生の体育祭の巡視を行なった。 ・重要な案件について、必要事項を速やかに物理系教員に連絡し、物理系の意向を代議会に報告できた。 		
	0.00				0.00			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)									
名 前		眞榮平 孝裕		所 属	理学部 物質地球科学科		職 名	教授	
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定			業務 ウエイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果			
教育・ 学生支援	0.35	学部学生に対しては、相対論、統計力学特論、統計力学、力学など必修科目2講義と卒業研究のセミナー指導を行う。また、大学院学生に対しては、物性学特論の講義と特別演習、特別研究の指導を行う。力学、相対論についてはノートパッドを導入し、学生の理解度を把握しながら視覚的に授業を進めていく。 物性学特論については、物性物理学の基礎的な事項から出発して、研究の最前線で行われているテーマについても講義する。 卒業研究生、大学院生を指導する。 講義時間以外についても、学生からの質問があれば積極的に指導する。			0.35	学部学生に対しては、相対論、統計力学特論、統計力学、力学など必修科目2講義と卒業研究のセミナー指導を行った。力学については口頭試問を実施し、学生の理解度の把握に努め、授業に活かした。また、大学院学生に対しては、物性学特論の講義と特別演習、特別研究の指導を行った。物性学特論については、物性物理学の基礎的な事項から出発して、研究の最前線で行われているテーマについても講義を行った。卒業研究生、大学院生を指導した。講義時間以外にも、学生からの質問があり指導した。 発達障害学生に対する支援経費85万円を獲得し当該学生に対する合理的配慮を実施した。また、指導スキル向上のために障がい学生支援FD・SD研修会に参加し、過程を修了した。			
研究	0.35	「強相関化合物におけるf電子の局在・非局在転移近傍の一粒子描像に関する研究」に関して科研費など外部資金獲得を目指す。 関連論文を国際紙に投稿することを目標にする。 関連する国際会議や所属する学会で研究発表を行う。 他大学あるいは他研究所と国内的共同研究を行う。			0.20	「強相関化合物におけるf電子の局在・非局在転移近傍の一粒子描像に関する研究」に関して研究を進めた。 関連論文を国際紙に投稿した。 他大学あるいは他研究所と国内的共同研究を進めた。			
社会 貢献	0.15	公開講座を行い中高校生を中心とした地域社会への物理の魅力を伝える。オープンキャンパスにて研究室紹介を行い、研究内容の説明を高校生に行う。幼稚園・小学校や公共施設に出向き、物理実験による科学教育を行う。科学の祭典、青少年科学作品展、県主催の科学教育人材育成事業に参画する。 産学官連携として、連携事業を実施し学内の教員とのコーディネートを進める。 県内企業を中心とした産官学連携を進める。			0.20	公開講座を行い中高校生を中心とした地域社会への物理の魅力を伝えた。オープンキャンパスにて研究室紹介を行い、研究内容の説明を高校生に行った。幼稚園・小学校や公共施設に出向き、物理実験による科学教育を行った。科学の祭典、青少年科学作品展、県主催の科学教育人材育成事業に参画した。 産学官連携として、県内企業との連携でゼロエネルギーハウスを琉球大学内設置を進めた。また、沖縄版ゼロエネルギービル・ハウスに関する研修会を学内で実施し県内外のハウスメーカー60社の参加を得た。			
管理 運営	0.15	理学部副学部長として学部運営に関して滞りなく進むよう各種委員と連携しながら行う。物理系内システム委員として、メールサーバー、計算機サーバーの管理運営を行う。			0.25	理学部副学部長として学部運営に関して滞りなく進むよう各種委員と連携して進めた。産学官連携推進機構併任教員として、県内外の企業と連携を進めた。次年度、経済産業省や商工会連合会への支援金申請の足がかりを作った。物理系内システム委員長として、メールサーバー、計算機サーバーの管理運営を行った。 今年度発足の障がい学生支援室の併任教員として、合理的配慮に関する内容で学内の連携を進めた。 IT戦略室室員として、学内運営に参加した。			
	0.00				0.00				
計	1.00	・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。		